

スポット ニュース

瑞浪超深地層研究所の着工式を行いました

7月8日、古屋経済産業副大臣、坂田岐阜県副知事、高嶋瑞浪市長をはじめ地域の方々など多数のご来賓の出席のもと、瑞浪超深地層研究所の建設開始にあたり着工式を行いました。今後、用地内では、沈砂池の工事に引き続き、用地造成を行っていく予定です。



写真は着工式の様子



写真は重機発動の様子

今月の作業内容

【瑞浪超深地層研究所】

100～250 ㍍程度のボーリング作業
(MSB-2号孔：7月17日で約180 ㍍掘り掘削を完了。現在は水理試験中)
(MSB-4号孔：7月17日で約91 ㍍掘り現在は水理試験中)
瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧の長期観測
物理探査を行うための既存ボーリング孔の追加掘削(深さ106m 400m)
正馬様用地内の除草、枝払い、下草刈りの作業
動植物のモニタリング調査

地層研ニュースに関するご質問または、正馬様用地、瑞浪超深地層研究所の見学をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課(青木,茅吹,福島)

文化・歴史・自然を楽しむ in 瑞浪

小里城山城跡(県指定)

所在地：稲津町小里(字城山)2718番地

この小里城は、土岐氏の流れを汲みこの地を領していた小里出羽守光忠が天文3年(1534)に築城し、以後代々の居城となりました。天下統一に力をそそいだ織田信長が武田勢と戦った砦として、天下威武の跡をとどめています。

この小里城山城跡は、山の頂上にあり、細い山道を歩いて30分ほどかかります。実際に登ってみると非常にキツイ道でした。しかし、頂上に着くと美しい景色と小里城山城跡があり、登った充実感でいっぱいになりました。



小里城山城跡(県指定)

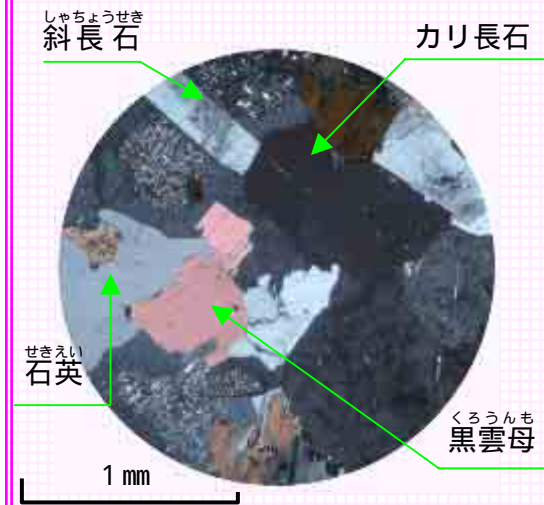


頂上からの景色

用語あれこれ

【花崗岩って何?】

花崗岩とは、マグマが地下深くでゆっくりと冷えて固まったものです。御影石とも呼ばれ墓石や石垣などにも使われています。下の写真は、東濃地域の地下にある土岐花崗岩と呼ばれる岩石を顕微鏡で見たものです。この岩石は、恐竜が生きていた白亜紀と呼ばれる時代(約7,000万年前)にできたと考えられています。



土岐花崗岩の顕微鏡写真(深さ約1000 ㍍)

来月の作業予定

【瑞浪超深地層研究所】

100～250 ㍍程度のボーリング作業(MSB-2号孔：終了予定)(MSB-4号孔：継続)(MSB-1号孔：MSB-2号孔終了後ボーリング作業開始)
瑞浪超深地層研究所用地内の造成工事

【正馬様用地】

既存のボーリング孔での水圧の長期観測
物理探査を行うための既存ボーリング孔の追加掘削(深さ106m 400m)
正馬様用地内の除草、枝払い、下草刈りの作業
動植物のモニタリング調査